

講義名		研究演習Ⅱ			
講義コード	45403	授業形態		開講期・曜日・時限	通年 木曜日 5 時限
担当教員	福田 哲也	ナンバリング・コード		SEN350	
学部・学科				演習分野	
心理社会学科・観光学科・人間健康学科				感情心理学/社会心理学/パーソナリティ心理学	
概要説明					
・このゼミで扱う領域 このゼミでは、心理学の中でも感情心理学・社会心理学・パーソナリティ心理学を中心に議論や研究を行います。 ・ゼミの概要 私たちは、日々の中で様々な社会的行動をとります。その行動は、行動をとった人のパーソナリティ（性格）で説明できるかもしれませんが、その人が置かれた状況で説明できるかもしれません。あるいは、その時の感情から説明できるかもしれません。そして、人の行動を説明することができれば、人の行動を予測することができます。このように、人の行動がパーソナリティや状況、感情によって説明あるいは予測できるのかを皆さんと一緒に考えていきたいと思います。 以下のキーワードに関心がある人が本研究演習の対象者になります。 →感情・対人関係・コミュニケーション・社会的行動 ・研究演習Ⅰ・研究演習Ⅱ・卒業研究それぞれの予定。 (研究演習Ⅰ・Ⅱは、卒業研究を行うために必要な知識や技術を得るための演習と位置付けています) ①研究演習Ⅰ 研究論文の読み方や研究方法の理解を主な目的とします。各授業回では、文献の精読を行い、各自が発表を行います。その発表に対して、全員で議論を行います。 ②研究演習Ⅱ 前期は、研究演習Ⅰや他の授業で習得した知識を用いて複数人でグループ研究を行います。これらを通して研究実施に関する一連の流れ（研究計画の立案、実験・調査の実施、データ収集、解析、レポート報告）を体験します。後学期では、各自が関心のあるトピックの論文を精読し、発表します。それらを通して、卒業研究で取り組む具体的なテーマやトピックを絞っていきます。 ※受講生の関連授業の履修状況によっては、前期と後学期で行う内容を入れ替える可能性があります。 ③卒業研究 研究演習Ⅰ・Ⅱで学んだことを活かし、各自で卒業研究の実施および卒業論文の作成に取り組みます。卒業研究のテーマは、原則として自身が関心のある内容を選んでください。実施する卒業研究は、実験や調査などデータ収集を伴ったものとします。 なお、研究演習Ⅱで行ったグループ研究や卒業研究は、心理学関連の学術大会などで皆さん自身が発表することも視野にいられています（強制ではなく、時期や研究内容を鑑み、また皆さんの意思を尊重します）。 参考 ・2023年度の研究発表（https://www.umds.ac.jp/231201-3/） ・2024年度の研究発表（https://www.umds.ac.jp/241126/）					
主な卒業論文のタイトル					
流通科学大学で指導した卒業論文 ・獲得容易性が平均以上効果に及ぼす影響―自己効力感による調整効果の検討― ・計画的行動理論に基づく社会的迷惑行為の生起過程の検討 ・学習動機が先延ばしに及ぼす影響―代表的な認知的変数との比較― ・対人葛藤方略が受け手側の関係継続意図に与える影響―初対面時の対人葛藤場面の検討― ・帰属スタイルと認知的評価が否定的感情に及ぼす影響―被攻撃場面に着目して― 参考：他大学で指導した卒業研究 ・不幸の伝達が伝達者の印象及び被伝達者の自尊心に及ぼす影響―伝達時のシャーデンフロイデの表出を考慮して― ・恋人獲得行動と恋人として期待される要因との関連―特定の好意を抱く人物がいない場合に着目して― ・主観的幸福感と協調的幸福感が自己嫌悪感に及ぼす影響 ・隠蔽の有無による羞恥感情の差の検討					
教員よりの要望					
①ゼミや研究活動を通して、多くの問題や障害にぶつかることがあると思います。その際、どのようにすれば、それらを乗り越えられるのかをしっかりと考えることを心がけてください。 ②ゼミは参加者全員で作り上げるものだと考えています。ですので、他の人の発表などに対して、積極的に意見を出してください。					
選考方法					
「面談」と「演習申込書」をもとに選考を行います。 ※面談は事前連絡を行ったうえで、必ず来てください。演習申込書は、研究演習において、どのようなことを研究したいのかを書いてください。					

評価方法	
発表や受講態度、レポートなどをもとに総合的に評価	
教員英字氏名	研究室
Tetsuya FUKUDA	研究棟 V 4階 5420研究室
最終学歴	
広島大学大学院 教育学研究科 教育人間科学専攻 博士課程後期 修了	
学位	
博士（心理学）	
主な研究活動・社会活動・研究業績	
【研究テーマ】 社会的感情の機能 感情がコミュニケーションおよび対人関係に及ぼす影響	
【主な研究業績】 羞恥感発出者に対する観察者の評価および行動・表出者の表情による違い―（感情心理学研究，21，80-90.） 羞恥場面における観察者の行動が羞恥感情に及ぼす影響―公称状況における影響およびその影響プロセスの検討―（感情心理学研究，23，116-122.） 感謝された後に向社会的行動が起るまでの心理過程（心理学研究，89，40-49.） 軽蔑を特徴づける状況―嫌悪・怒りとの比較を考慮した探索的検討―（感情心理学研究，28，57-66）	
【社会的活動】 日本感情心理学会刊行雑誌 感情心理学研究 編集委員（2022年6月～） 一般社団法人 日本心理学諸学会連合 心理学検定局 運営委員（2019年1月～） 日本心理学会公開シンポジウム「高校生のための心理学講座 開催地：聖カタリナ大学」 企画者・司会者・講師（2019年10月） 愛媛県看護協会 保健師助産師看護師実習指導者講習会 講師（2019年9月～10月・2018年9月） 松山市社会福祉協議会 まつやまシニアアカレッジ講師（2019年8月） 認定心理士の会 中国・四国支部会 公開シンポジウム“職場で活きる心理学―基礎・臨床・現場から―” シンポジスト（話題提供）（2019年2月） 高千穂大学 平成29年度春学期公開講座 総合科目A「心理学・脳科学の入門から発展まで：心を様々な角度から眺めるために」講師（2017年7月）	
趣味・特技	
読書（特に、日常の謎などをテーマにしたミステリをよく読みます） バイク（目的地を決めずに走るのが好きです）	
所属	
心理社会学科	
所属学会	
日本心理学会 日本感情心理学会 日本社会心理学会 日本パーソナリティ心理学会 関西心理学会 中国四国心理学会 Society for Personality and Social Psychology	
専門分野	
感情心理学・社会心理学・パーソナリティ心理学	
担当科目	
社会心理学・基礎心理学・心理学概論・心理学研究法・心理学実験基礎・心理学実験演習・教養特講Ⅰ（心理社会学科へのいざない）・専門基礎演習・研究演習Ⅰ・研究演習Ⅱ・卒業研究	
備考	
・演習で使用する本や文献などを各自で購入していただく可能性があります。 ・ゼミでの研究活動では、心理学の基礎的知識が必要となります。そのため関連する授業が未履修の場合、履修を求める場合があります。	
実務経験の有無及び活用	